

我孫子のいろいろ八景 見聞綴り

其の三

桜八景 / 水八景

我孫子市

我孫子のいろいろ八景（其の三）

桜八景 （市域東から）

- ・ 宮ノ森公園
- ・ 布佐南公園
- ・ 手賀沼遊歩道
- ・ 川村学園女子大学
- ・ 我孫子中学校
- ・ 電力中央研究所
- ・ 手賀沼ふれあいライン
- ・ 我孫子2丁目マンション街

水八景 （市域東から）

- ・ 栄橋付近から見た利根川
- ・ 古利根沼
- ・ 遊歩道から見た手賀沼
- ・ 岡発戸・都部の谷津
おかほつと いちぶ
- ・ かし池
- ・ 高野山桃山公園・前原古墳から見た手賀沼
こうのやま
- ・ 水の館展望室から見た手賀沼
- ・ 手賀大橋から見た手賀沼

はじめに

我孫子市では、市内の景観資源を掘り起こし、市民の景観への関心を高め、より良い景観づくりにつなげていくため、平成24年度から「我孫子のいろいろ八景探し」を行ってきました。

これまで多くの市民の皆さんから応募をいただき、平成24年度は、其の一として「公園八景」「坂道八景」「成田線車窓八景」を、平成25年度は、其の二として「まちなみ八景」「ハケの道八景」「斜面林・田園八景」を選定することができました。

平成26年度は、八景探しの最終年度として、「桜八景」と「水八景」の2つのテーマについて、7月1日から8月31日まで募集を行い、「桜八景」は215名の方から621件、「水八景」は174名の方から438件の応募がありました。

八景の選考にあたっては、市内で景観づくりや自然保護、歴史・文化の振興などの活動を行っている市民団体に属する7名の委員で構成する「我孫子のいろいろ八景選考委員会」において、現地や写真をよく見たうえで、十分に審議を尽くして行い、左ページのとおり選定しました。これにより、8つのテーマごとの八景、計64景が決まったこととなります。

今回選ばれた八景も、これまでの八景と同様に、市内でも有数の景観スポットや、普段は通り過ぎてしまうような隠れた景観、こんなところが我孫子にもあったんだというような景観です。ぜひ、この見聞綴り其の三のほか、其の一、其の二も片手に64景を訪ねてみてください。

この企画は、市の景観づくり市民団体に認定されている「我孫子の景観を育てる会」の皆さんと協働で実施したものです。今後は、市内外の多くの人たちに八景を訪れてもらえるよう、引き続き市民とともに、ガイドマップを作成し、八景を巡る散策会を開催するなど、八景の普及・定着に向けたさまざまな取り組みを進めていきたいと考えています。

この見聞綴りが、市民や事業者の皆さんの景観への意識や関心をさらに高め、我孫子市の魅力ある景観を守り、育て、未来へ引き継ぐための一助になれば幸いです。



オオバンくん

目 次

我孫子のいろいろ八景分布図	・・・・・・・・	1
桜八景		
① 宮ノ森公園	・・・・・・・・	2
② 布佐南公園	・・・・・・・・	3
③ 手賀沼遊歩道	・・・・・・・・	4
④ 川村学園女子大学	・・・・・・・・	5
⑤ 我孫子中学校	・・・・・・・・	6
⑥ 電力中央研究所	・・・・・・・・	7
⑦ 手賀沼ふれあいライン	・・・・・・・・	8
⑧ 我孫子2丁目マンション街	・・・・・・・・	9
水八景		
① 栄橋付近から見た利根川	・・・・・・・・	10
② 古利根沼	・・・・・・・・	11
③ 遊歩道から見た手賀沼	・・・・・・・・	12
④ 岡発戸・都部の谷津	・・・・・・・・	13
⑤ かじ池	・・・・・・・・	14
⑥ 高野山桃山公園・前原古墳から見た手賀沼	・・・・・・・・	15
⑦ 水の館展望室から見た手賀沼	・・・・・・・・	16
⑧ 手賀大橋から見た手賀沼	・・・・・・・・	17
訳注	・・・・・・・・	18
我孫子のいろいろ八景選考委員会委員	・・・・・・・・	19

我孫子のいろいろ八景分布図

- 桜八景選定地
- 水八景選定地

● 桜八景

- ① 宮ノ森公園 p 2
- ② 布佐南公園 p 3
- ③ 手賀沼遊歩道 p 4
- ④ 川村学園女子大学 p 5
- ⑤ 我孫子中学校 p 6
- ⑥ 電力中央研究所 p 7
- ⑦ 手賀沼ふれあいライン p 8
- ⑧ 我孫子2丁目マンション街 p 9

● 水八景

- ① 栄橋付近から見た利根川 p 10
- ② 古利根沼 p 11
- ③ 遊歩道から見た手賀沼 p 12
- ④ 岡発戸・都部の谷津 p 13
- ⑤ かじ池 p 14
- ⑥ 高野山桃山公園・前原古墳から見た手賀沼 p 15
- ⑦ 水の館展望室から見た手賀沼 p 16
- ⑧ 手賀大橋から見た手賀沼 p 17



桜八景① 宮ノ森公園



J R成田線布佐駅下車
徒歩：南口から10分



成田線や布佐小学校、竹内神社に囲まれたところに、公園八景と成田線車窓八景にも選ばれている宮ノ森公園があります。

公園の南側に成田線に沿って園路が整備され、およそ200mにも及ぶ見事な桜並木が続きます。開花時には“桜のトンネル”となり、その下を歩くと、手が届くほどの高さなので、桜一色の空間に浸ることができます。この風景は、平成22年に発行された市制施行40周年記念切手に採用されています。

こうした桜の風景に溶け込むように、一人ベンチでくつろいでいる人や、緑の草の上にシートを広げて家族や友達とお弁当を食べている人たち、元気に遊んでいる小学生や園児たちの姿を眺めるのも、何とも微笑ましい光景です。

成田線からも桜並木を眺めることができますので、成田線に乗った時にはぜひ見逃さないようにしてください。

これから年月を重ねていくと、なお一層見ごたえのある桜の名所になることでしょう。

桜八景② 布佐南公園



J R成田線布佐駅下車

徒歩：南口から20分

バス：南口からスポーツセンター前・新木駅南口行5分
南公園下車 徒歩1分



まちなみ八景に選ばれている布佐平和台の住宅街の中、布佐南小学校の北側を通る「やすらぎの道」(注1)と成田線に挟まれたところに布佐南公園があります。

やすらぎの道からは少し高くなった丘となっていて、なだらかな起伏があり、たくさんの桜が公園の東側を中心にほど良い間隔で植えられています。幹回りは1mを超えるものもあり、園内は芝もきれいに整備されています。西側には、大きな芝生の広場があり、子どもたちが走り回っています。

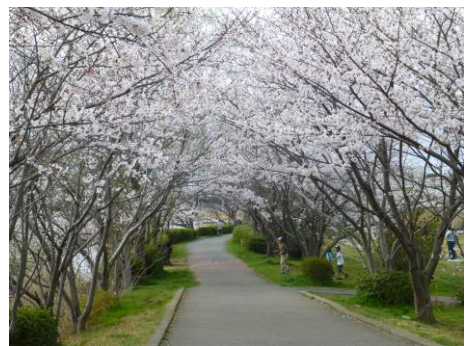
住宅街にある公園なので、桜の時期には地域の人たちが思い思いのグループで花見会を開いて楽しんでいます。その様子はとてもどかな光景で、傍らを通る成田線の電車の音が、ちょっとしたアクセントになっています。

成田線布佐駅南口から徒歩で向かうなら20分位ですので、やすらぎの道を進み布佐南近隣センターあたりから線路沿いの緑地の小径を歩いて行ってみてはいかがでしょうか。桜を楽しんだ後は、新木駅方面まで成田線車窓八景に選ばれている「やすらぎの道の並木」を眺めながらの散策もお勧めです。

桜八景③ 手賀沼遊歩道



- J R 常磐線我孫子駅下車 徒歩：南口から 10 分
 J R 常磐線天王台駅下車 徒歩：南口から 15 分
 J R 成田線東我孫子駅下車 徒歩：15 分



手賀沼遊歩道は、東は手賀沼フィッシングセンター付近の我孫子市と柏市の市境から、西は公園八景に選ばれている手賀沼公園までの延長およそ 5.3 km の緑道です。四季を通じて、遠方からも多くの方々が行楽に訪れ、散策、野鳥観察、ウォーキング、ジョギング、サイクリングと、思い思いに楽しんでいます。

遊歩道の桜並木は、五本松下広場から手賀沼公園まで続き、ソメイヨシノ、八重桜、山桜などのいろいろな樹種があるので（注2）、少しずつ花の時期をずらして観賞できます。水の館の近くでは、「桜のトンネル」となり、ほど良く設えられた「かたらいベンチ」（注3）に腰掛けてゆっくり楽しめます。

手賀大橋の下をくぐると、県立我孫子高等学校のグラウンド脇に出ます。桜八景の応募者からは、「学び舎からつづく桜は青春の一頁を飾る風景」とのコメントがありました。

まちなみ八景に選ばれている若松沿いの桜並木は、少し古木の風情ですが、満開時はまさに“花の雲”といわれる風景が続きます。終点の手賀沼公園の手前には「文学の広場」があり、桜の下で我孫子ゆかりの文人の碑文を楽しむことができます。

なお、手賀沼遊歩道は、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」（注4）に選ばれた「手賀沼と我孫子の歴史を訪ねるみち」の一部となっています。

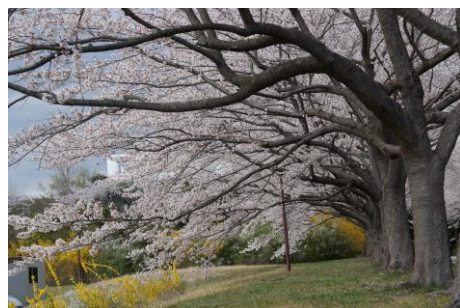
桜八景④ 川村学園女子大学



J R常磐線天王台駅下車

バス：北口から川村学園女子大学行 5分

徒歩：北口から 20分



「感謝の心」を基盤とした「自覚ある女性」の育成と「社会への奉仕」を建学の理念とする川村学園女子大学。

昭和63年（1988年）の開学以来、未来を担う多くの女性たちの社会への門出を見守ってきた桜並木も、26年の歳月が過ぎました。敷地内に約300本ある桜も学生とともに成長し、見事な景観を呈しています。開花シーズンにはキャンパスが開放されるので、市内外から多くの方が訪れ親しまれています。

大学の正面を入り、右手に少し行くと、桜並木のアーケードが約270m続きます。中ほどには大島桜も見られます。右側の庭園にも多くの桜が植えられていて、黄色のレンギョウとの対比は、春ならではの風情です。

また、満開の桜の中、市民の方々や学生たちが憩い、会話に花を咲かせる光景がいくつも見られます。グラウンドの近くには、まだ小さいけれど枝垂れ桜が可憐に咲いています。これもいずれは立派な桜に姿を変えることでしょう。

花咲く季節にぜひ訪れて、春の一日を楽しんでみてください。

また、キャンパスを出ると、水八景に選ばれた「かし池」も近いので、寄ってみてはいかがでしょうか。

桜八景⑤ 我孫子中学校



- J R 常磐線天王台駅下車
 徒歩：南口から15分
 バス：南口から我孫子駅・東我孫子車庫行5分
 我孫子中学校下車 徒歩1分
 J R 成田線東我孫子駅下車 徒歩：15分



高野山の国道356号沿いにある我孫子中学校では、入学の季節になると、枝ぶりも見事な桜が、初々しい新入生たちを歓迎するかのように咲き誇ります。国道からは満開の桜越しに校舎が見え隠れし、その中では、入学や進級によって新たなスタートを切った生徒たちの様子がうかがえます。

我孫子中学校は、昭和25年（1950年）に当地に移転し、国道沿いの桜は、その歴史とともに大樹となっています。また、校舎北側にも校庭を囲むように桜が植えられ、学校全体をやさしく包み込んでいます。

学校の桜は、郷愁にかられます。桜を見るたびに、故郷の風景や若き日の思い出がよみがえり、感慨に浸ってしまわれる方も多いのではないのでしょうか。

国道の歩道沿いには、先生や生徒たちによってよく手入れがされた花壇があり、満開の桜とともに行き交う人たちの目を楽しませてくれています。

桜八景⑥ 電力中央研究所



J R 常磐線我孫子駅又は天王台駅下車
徒歩：各駅北口から20分



電力中央研究所（注5）は、常磐線の北側、我孫子駅と天王台駅の間位置し、国道6号の両側に立地しています。

国道沿いの約300mにも及ぶソメイヨシノや八重桜、大島桜の桜並木は、80本を超える太い樹木が道路に向かって枝を伸ばし、その眺めは圧巻です。満開の頃はもちろん、桜吹雪が舞う中、歩道を歩くのも良いものです。研究施設のため敷地内に入れませんので、近くにある電研橋や妻原歩道橋からの眺めもお薦めです。車を運転する人たちは、車窓に広がる風景の中、スピードを少し緩めて走っているようです。

また、研究所南側の斜面林には、秋から初冬にかけて小ぶりの子福桜こぶくが、けな気に咲いています。散歩の時に癒されるかわいらしさです。

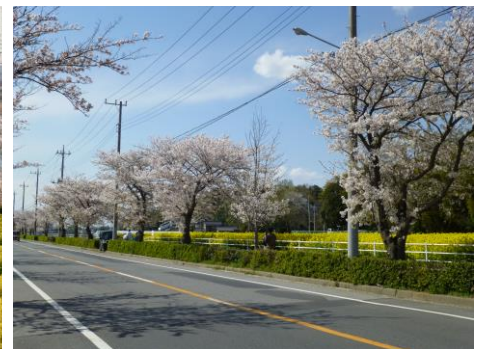
所員の方に伺うと、「樹木の管理は大変ですが、『きれいですね』と声をかけられることが嬉しい」とのことでした。

なお、電力中央研究所の斜面林と白亜の建物は、成田線車窓八景に選ばれています。

桜八景⑦ 手賀沼ふれあいライン



J R常磐線我孫子駅下車
徒歩：南口から10分



手賀沼公園から北柏方面に向かう手賀沼ふれあいライン（注6）では、両側の歩道におよそ2 kmにわたって300本を超える桜並木が続いています。この桜並木は、平成元年の道路開通に合わせて植えられました。幹の太さは様々ですが、太いものは幹回りが150 cmにも及びます。

道路の両側には歩道があり、安心して手賀沼や桜を見ながらの散歩が楽しめます。手賀沼公園から西へ進むと、左手には沼の青さと桜色の彩りが広がります。右手方向に目を向ければ、菜の花の黄色や、斜面林・田園八景に選ばれている根戸城跡・根戸船戸緑地の緑と桜色の彩りを楽しむことができます。こうした素晴らしい眺めに、思わず足が軽やかに動いて行くことでしょう。

また、この区間には信号が1つも無く、ほぼ真っ直ぐに続いているので、車で“桜のトンネル”を心地よく走ることができます。運転する方々からは、「ワクワクしながら走れます」「幸せを感じます」「車でこの道を通ることが楽しみです」と多くの支持が寄せられています。

桜八景⑧ 我孫子2丁目マンション街



JR常磐線我孫子駅下車
徒歩：北口から5分



我孫子駅北口からほど近い、大規模工場の跡地に建てられた高層マンション群とその周辺には、建設以前からあった見事な桜が数多く残されています。

マンション街のメインストリートの両側には、ソメイヨシノが30数本あり、道の真ん中にも桜の大木が残されていて、通る人の目を楽しませてくれます。

また、近隣の大型ショッピングセンターに通じ、「シティア・マーケットストリート」と呼ばれている小径こみちの両側には、緑豊かな木々や四季を彩る草花などが植えられ、桜の季節には50本を超える桜並木が華やかさを添えてくれます。さらに、このおしゃれな散歩道に隣接している「我孫子いちよう公園」の10本の古木桜も見逃せません。

これらの桜をはじめとした木々の緑は、高層マンションをやわらかく美しく包み込み、人々の暮らしに潤いを与えています。また、こうした風景からは、お住まいになっている方々の“住みやすく美しいまちを守り、育てていこう”という愛情が感じられます。

なお、この地区は、まちなみ八景にも選ばれています。

水八景① 栄橋付近から見た利根川



J R 成田線布佐駅下車
徒歩：東口から10分



栄橋は、日本一の流域面積を誇る利根川をたっぷり堪能できる場所の一つです。

歩道から上流を望めば、遠くに見える筑波山と川岸近くに迫る葦原や低木が、利根川の雄大な景観を引き立てています。下流を望めば、悠々たる流れが大きく蛇行し、空の広さと利根川の壮大さを感じます。

栄橋付近から下流の堤防上には、香取市からここを終点とする県道佐原我孫子自転車道が整備されています。下流へ少し歩みを進めると、「海から75.5km」の標識があります。このあたりの布佐地区は、江戸時代に河岸として栄え、銚子方面や布佐近辺で獲れた鮮魚を江戸に陸送する「鮮魚街道」の出発点となっていました。江戸時代の利根水運が盛んだった頃のことを思い描き、当時の河岸や網代場（注7）を想像しながら歩いてみてはいかがでしょうか。

一方、栄橋付近から上流の堤防上も舗装され、国道6号の大利根橋付近まで続いていますので、利根川の圧倒的な存在感を全身で感じながらのサイクリングもお勧めです。

水八景② 古利根沼



J R 成田線湖北駅下車

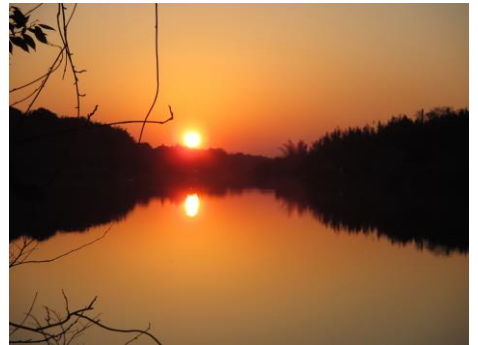
徒歩：北口から20分

J R 常磐線天王台駅下車

バス：北口からNEC日本電気前・

川村学園女子大学前行・大和団地行

大和団地入口下車



古利根沼は、もともと利根川の本流の一部でした。

明治45年から大正9年（1912年～1920年）にかけて、利根川の流路変更が行われ、川の流れが直線化されました。これにより、大きく湾曲していた部分が三日月形で取り残され、沼となりました。沼の北側は、茨城県取手市の^{おおほり}小堀地区として現在に至っています。

我孫子市側の道路から沼の南岸に近づくと、釣り人がのどかに糸を垂れており、斜面林・田園八景に選ばれている緑濃い斜面林が水面に影を映しています。斜面林の上部には、公園八景に選ばれている「古利根沼公園・自然観察の森」があり、その北端から静かな沼を見下ろすのも良いものです。また、沼の東側、取手市との市境付近から沼を望めば、沼は弧を描くように湾曲し、水面と斜面林が一層奥深く感じられます。

古利根沼は、昔の利根川の面影を残す貴重な自然遺産です。特に夕暮れ時は、沼の静けさが際立ちます。水と緑と静寂を味わいに、ぜひお出かけください。

水八景③ 遊歩道から見た手賀沼



J R 常磐線我孫子駅下車 徒歩：南口から 10 分
 J R 成田線東我孫子駅下車 徒歩：15 分



手賀沼遊歩道（4 ページ参照）を東の起点、手賀沼フィッシングセンターのあたりから歩いてみましょう。湖北集水路に架かる橋の付近では、沼の東の端が広く見渡せます。水路が沼に注ぐあたりは、オオバンやコブハクチョウなど、水鳥たちの休息場所になっています。

滝下広場脇の橋に立つと、水鳥たちが人懐こく寄ってきます。高野山ふれあい市民農園付近にある「手賀沼から 2.5 km」の道標からは、東方向に大きく開けた沼を望むことができます。

手賀沼親水広場からは、河童の噴水、手賀大橋、対岸のハスも見え、沼に張り出したテラスの近くでは、のんびり釣り糸を垂れている人も見られます。さらに西へ進み手賀大橋のたもとで振り返ると、水の館を背景にヨットと水鳥が優雅に浮かび、時折り遊覧船も見られます。

公園八景に選ばれている手賀沼公園の公園岬では、東屋やかたらいベンチで沼を見ながらのんびりくつろぐ人たちの姿が見られます。また、親水護岸では、子どもたちが楽しそうにはしゃいでいます。

こうした手賀沼の景色は、わたしたちを癒してくれる我孫子市の大切な財産です。杉村楚人冠をはじめ、先人達が遺してくれた美しいこの沼を、これからも大切にしていきたいものです。

おかほっと いちぶ 水八景④ 岡発戸・都部の谷津



J R 成田線東我孫子駅下車
徒歩：5分

J R 成田線湖北駅下車
バス：湖北台団地経由
天王台駅・東我孫子車庫・我孫子駅行
湖北台十丁目又は中央学院高校下車 徒歩3分



岡発戸・都部の谷津は、すでに成田線車窓八景、ハケの道八景、斜面林・田園八景にも選ばれている景観ポイントの宝庫です。面積約37haの市内最大の谷津で、我孫子ゴルフ倶楽部の北側から東側にかけて広がっています。

谷津の北東部に隣接する湖北台10丁目の住宅地から、谷津北側の斜面林下のハケの道を西に向かってしばらく歩いていくと、右手に「ホテル・アカガエルの里」の池や湿地帯が現れます。これは、市民と市が協働で、荒れた斜面林の手入れや草刈り、水田耕作の再開など、湧水を増やす取り組みを行って復活したものです。これにより、減少していたヘイケボタルやニホンアカガエルが大幅に増えたとのこと。

また、谷津の中央を流れる排水路は、谷津の南東部にある作業小屋の近くで多自然型護岸（注8）に改良されています。改良されている区間はまだ100m程度ですが、緑に覆われた岸の間を流れる小川のせせらぎは、まさに童謡「春の小川」の世界です。また、緩い傾斜の護岸とすることで、カエルやヘビなどの生き物が移動しやすく、わたしたちが水に親しめる空間にもなっています。

水八景⑤ かじ池

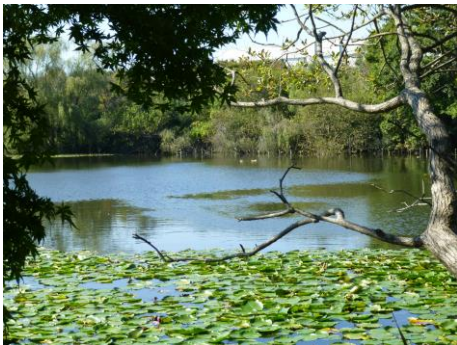


J R常磐線天王台駅下車

バス：北口から川村学園女子大学行 5分

川村学園女子大学下車 徒歩 5分

徒歩：北口から 25分



かじ池は、日の出通り沿いのレストラン「かじ池亭」の敷地内にあります。利根川の氾濫によりできた池で、直径およそ70mの円形をし、広さは約2100坪、水深は約5.5mとなっています。

かじ池の名の由来は、「その昔、落武者が住みついて、農具や鍋釜の修理をしていたことから鍛冶池と呼ばれていた」と市の教育委員会が発行した「我孫子市史研究4号」に記されています。

現在は、自然を大切にしたいというレストランのオーナーによって、池の周りで散策や休憩ができるよう整備されており、平成14年には、レストランの建物と庭、池、散策路が市の景観賞を受賞しました。

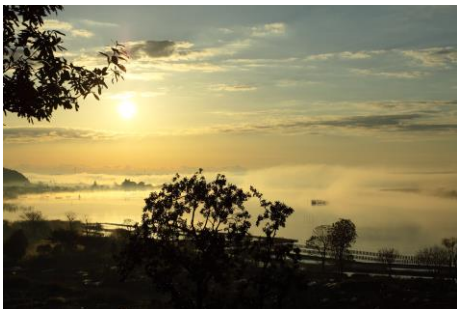
池にはメジロやサギ、カワウなどの鳥が飛来し、運が良ければカワセミにも出会えます。昔はウナギもよく釣れたとのことで、子どもたちの格好の遊び場だったそうです。池の周りにはさまざまな木々や花が植わっていて、春夏秋冬それぞれの季節感を味わえます。

オーナーのご厚意により、レストランを利用されない方でも、日の出から日没までは気軽に入ることができますので、ぜひお出かけください。

このやま 水八景⑥ 高野山桃山公園・前原古墳から見た手賀沼



JR常磐線天王台駅下車
 徒歩：南口から15分
 バス：南口から我孫子駅・東我孫子車庫行5分
 我孫子中学校下車 徒歩5分
 JR成田線東我孫子駅下車 徒歩：15分



公園八景と斜面林・田園八景に選ばれている高野山桃山公園は、平成22年3月に開園した新しい公園です。隣接する市内最古の古墳である「前原古墳」と一体となって、手賀沼を眺望するには最高の場所の一つとなっています。

沼に向かって左手方向を見下ろすと、田園風景とともに、手賀沼の広がりとお行きのあるパノラマを一望することができます。右手方向に目を向ければ、水神山古墳の斜面林と沼が織りなす風景を見ることができます。

沼の中ほどに打ってある木杭で水鳥たちが羽を休めている風景は、手賀沼ならではの風情ある^{たたず}佇まいです。四季折々に鮮やかに変化する手賀沼の表情が魅力的で、早朝には、市民カメラマンが手賀沼に昇る朝日のシャッターチャンスを待っていることもあります。

車でもアクセスしやすいように、公園下の手賀沼ふれあいライン沿いには駐車場が整備されていますので、遠方の方もぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

水八景⑦ 水の館展望室から見た手賀沼



J R 常磐線我孫子駅下車

バス：南口から市役所経由 東我孫子車庫行 又は
湖北駅南口行 5分
我孫子市役所下車 徒歩 5分
徒歩：南口から 25分



水の館の展望室は、手賀沼のすべてが一望できます。

エレベーターで展望室まで上がると、扉の向こうは東側ののどかな手賀沼です。田園風景の先にはゆったりとした水面が広がり、水面には葦やハスの群生が見られます。さらにその向こうには、緑豊かな斜面林が沼を囲むように連なっています。

展望室を右に回り、南側を見ると、かっぱの噴水や、水鳥が羽を広げたような手賀大橋のほか、木杭に止まって羽を干すカワウや、水尾を引いていく水鳥の姿を見かけることもあります。

西は東と全く違った雰囲気です。柏市方面では水平線上にビルや鉄塔が頭を出し、我孫子市側では、市街地が湖岸にまで迫っています。また、空気が澄んだ日には、遠く東京スカイツリーや富士山、奥秩父などの山並みを望むことができます。夕暮れ時は、それぞれのシルエットが現代を感じる絵のようです。

最後に展望室から全体を見渡すと、広い水面が群生している葦原の間を大きく蛇行し、ゆったりと流れているように見えます。遊歩道から見る手賀沼が親しげな水辺とすれば、展望室から眺める手賀沼は何もかも全てを包み込み、超然とそこにあります。

水八景⑧ 手賀大橋から見た手賀沼



J R常磐線我孫子駅下車

バス：南口から市役所経由 東我孫子車庫行

又は 湖北駅南口行 5分

我孫子市役所下車 徒歩 3分

徒歩：南口から 25分



現在の手賀大橋が完成したのは、平成13年3月です。この時、車道は4車線化され、歩道も整備されて、対岸への往来も便利になりました。

手賀沼親水広場側の歩道から、橋の中央へ歩みを進めると、素晴らしい眺望が開けてきます。首都圏30km圏内にあるとは思えない水辺の風景です。

東を望むと、沼を囲むように斜面林の緑が続き、沼辺には葦やハスが群生し、手前の水面では水鳥たちが行き交っています。天気の良い朝には、日の出とともに水面が銀色に輝き、やすらぎと静かな沼の風景を感じることができます。西を望めば、右手の沼沿いに手賀沼遊歩道と桜並木が続き、さらに沼の西端に向かっては根戸の斜面林が望めます。特に沼の向こうに夕日が沈んでいく光景には、感慨深いものがあります。

手賀大橋は、元日には初日の出を拝む人たちでにぎわい、夏には手賀沼花火大会の絶好のビューポイントにもなっています。あなたもぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。

訳注

- 注1 「やすらぎの道」は、平成12年に我孫子市が6つの道路に愛称をつけた中の一つ。布佐駅南口駅前広場から、布佐平和台の住宅地の中や新木駅南口の前を通り、手賀沼ふれあいラインに通じる道。
- 注2 平成20年に「我孫子市鳥の博物館」が発行した報告書「千葉県我孫子市高野山新田の手賀沼遊歩道沿いに植栽されたサクラの品種」では、手賀沼親水広場から滝下広場にかけて、ソメイヨシノ、八重桜、山桜のほか、一葉桜^{いちよう}、関山桜^{かんざん}など10を超える品種が植えられていることが確認されている。
なお、「我孫子市鳥の博物館」は、平成2年5月に「人と鳥の共存を目指して」をテーマに、日本初の鳥だけを扱った博物館として開館した施設。
- 注3 「かたらいベンチ」は、市民や事業者の寄付によって公園、緑地、遊歩道に設置するベンチ。寄付した方の希望により、ベンチには名前とメッセージを表示することができる。
- 注4 「美しい日本の歩きたくなる道500選」は、平成16年に一般社団法人日本ウォーキング協会が、国土交通省や日本放送協会などの後援を得ながら選定した道。老若男女の誰もが、美しい四季や景観、地域の観光資源、歴史資源、文化遺産などを安全に訪ね歩くことができ、眺望にもすぐれた道が選定されている。
- 注5 「電力中央研究所」は、昭和26年に設立され、電気事業や社会におけるさまざまな課題の解決のため、エネルギーや環境に関わる研究開発を行っている。我孫子地区では、昭和32年に農電研究所が設置され、その後、土木・水理・環境部門が拡充された。現在は、地球工学研究所、環境科学研究所があり、電力施設にかかわる土木技術や自然災害対策、地域から地球規模にいたる環境問題対策などに取り組んでいる。年に1回、研究所内が公開されている。
- 注6 「手賀沼ふれあいライン」は、平成12年に我孫子市が6つの道路に愛称をつけた中の一つ。柏市との市境の根戸新田から手賀沼沿いを東へ進み、五本松公園、湖北台、南新木、相島新田などを経て、布佐の印西市との市境まで続く長い道。
- 注7 「網代場^{あじろば}」は、漁に使った網を干したり整備したりする場所のこと。かつて、布佐付近では、コイやウナギなどのほかサケ漁も盛んに行われ、明治から大正時代初期には最盛期を迎えた。
- 注8 「多自然型護岸」は、生態系に配慮し、自然環境との共存・調和を図るよう配慮した工法による護岸のこと。護岸を従来のコンクリート等で固めるのではなく、草や木が生えるように土を残したり、大きな石を組み合わせ、魚や小動物の棲む隙間を多くしたりするなどの工夫がされている。

我孫子のいろいろ八景選考委員会委員

(50音順)

飯高 美和子	我孫子の文化を守る会
桐石 二男	NPO法人手賀沼トラスト
佐久間 俊行	あびこガイドクラブ
染谷 迪夫	我孫子野鳥を守る会
田宮 純子	ふれあい手賀沼の会
藤木 顕斎	我孫子市民活動ネットワーク
吉澤 淳一 (委員長)	我孫子の景観を育てる会

我孫子のいろいろ八景 見聞綴り 其の三

平成27年2月28日発行

発行者 我孫子市

千葉県我孫子市我孫子1858番地

電話 04-7185-1111 (代表)

編集 我孫子の景観を育てる会

我孫子市都市計画課景観推進室

(非売品)

表紙デザイン 吾妻勝彦

写真提供 田中秀樹 田村義紘 山口喜久雄

我孫子の景観を育てる会



オオバンクン

